

経営セル羅網組合は、素直ノ材料徴収スル不能ノ有様ニテ、物品買取
者篠崎春吉ハ、同屋敷ノ督促ヲ受テ、困憊ニ居レリト云フ
而シテ、本會委員ハ、工手級ノ海軍工廠内役付職工ヲ網羅セルヲ以テ、
廠ノ主息留ヲ特産シ、此際協会ヲ解散スルヲ得策ナリト思料シ、不
協議会ヲ開キ之カ可否ヲ討議スルヲ宜ク々察議中ナリト云フ
解散ニ決シタル曉ニ、單ニ羅網組合ノ存置スルニ至ルベシト
(六月十三日)

(八) 日本交通労働組合ノ近況

本組合ノ解散組合員離散シ、会執力傾ミ衰退ノ状アリ、古河部等ハ
組合員ノ戸別訪問ヲ行シ、又ハ講演会ヲ開キ、類リ之組合員ノ引
止策ニ奮心シ、未リシカ、理ヲ有テ、支部長島上勝次郎ハ、今四
部員ト謀リ、復業ノ旨、演説ヲ中シ、機關雜誌ノ内容ヲ多ク、其
トノ計劃ヲ爲シ、先リ組合ヲ發展維持ノ名ノ下ニ、支部員九十九名
ノ自定ニ、端書例ヲ以テ、五十名宛ハ入テ、勧誘シ、多教名、諸級全
ク、勉テナリ

(六月二十日)

(九) 友愛會境川支部發會式

六月十九日、大阪市西區九条南、通リ妙見寺ニ於テ、其年行司會者宮
内幾太郎、綱領及宣言ノ規約ヲ朗讀シ、支部成立ヲ宣シ、結成
演説会ニ移リ、正司、熊雄外ハ、名ハ、演説アリ、其多ク、勸誘トシテ、藤
永田及相沢、造船所、所長等、其ノ對シ、名、接、贈金ヲ、協議シ、金、十、角
ヲ、贈工、團ニ、呈テ、贈セリ

代議員、兼、文部、長、宮内、幾太郎
副、文部、長、山、司、島、雄